



11ぴきのねこの石像

様々な表情の11ぴきのねこの石像が街のあちこちにあります。
絵本に登場するキャラクター「おおきなかな」や「あほうどり」の石像のほか、マンホールや街頭フラッグ、観光案内板など街中がねこでいっぱい。

【三戸町役場まで公共交通機関でのアクセス】

- 南部バス「三戸町役場前」から徒歩5分程度
(南部バス三戸営業所行き
バス停「八戸中心街ターミナル六日町」から
乗車後約1時間10分
青い森鉄道「三戸駅」で下車し南部バス田子行き
バス停「三戸駅前」から乗車後約10分 など)

まちあるきのスタート地点は三戸町役場の「お出迎えねこ」がおすすめ。



まちの楽校(市日)

地元のおかあさん方がつくるランチを食べながら、商店街の人たちと気軽に交流できるお店です。市日(8の付く日)に販売する炭火で焼いたじゅね(エゴマ)みその串もちが人気。

- 営業時間／9:00～15:00
- 定休日／土日祝日 ※市日は営業
- 電話番号／0179-23-5415

佐瀧本店・佐瀧別邸

大正期の洋風建築で国登録有形文化財。
家具や調度品も当時のものが残されており
大正期の生活風習を知るうえで貴重な建物です。
本店ではガマズミ果実を使った「ジョミサイダー」
など、三戸町の地サイダーも販売しています。

- 営業時間／8:30～17:30
- 定休日／土日祝日
- 電話番号／0179-23-3251

佐瀧別邸の見学は外観のみ(要予約)



熊原川沿いの風景

町の中心街を流れる熊原川。関根橋付近から川沿いを歩いてみると、表通りからは2階建てに見えた建物が実は…! など新たな発見があるかも。浅瀬には稚魚の群れも。

8

SANNOHE

三戸まちあるき



漫画家馬場のぼるさんのふるさとである三戸町では、11ぴきのねこの石像をいたるところで目にする事ができます。
石像を探しながら、大正ロマンや昭和レトロの建造物が多い城下町をタイムスリップしたような感覚で楽しめます。

サンノヘールガイド
河原木さんの紹介スポット

ガイド団体詳細はP.19

4



松宗菓子店

1850年(嘉永3年)頃創業の老舗菓子店。
11ぴきのねこの登場キャラクターを一つ一つ手作りでいる練り切りの和菓子が人気。表情豊かであまりに愛らしく、食べるのをためらいます。

- 営業時間／8:00～19:00
- 定休日／不定休
- 電話番号／0179-22-2719

SHOFUDO-松風堂-

三戸銘菓トヲ焼で有名なケーキ屋さん。
11ぴきのねこの模様がついたかわいらしい白ガトー(チーズブッセ)と黒ガトー(チョコレートケーキ)が人気。
おみやげにどうぞ。

- 営業時間／9:00～19:00
- 定休日／日曜日(行事により日曜営業、代休を取る場合あり)
- 電話番号／0179-23-3554



三戸郵便局

11ぴきのねこだらけの郵便局。
11ぴきのねこのフレーム切手や文房具などたくさんのグッズを販売しています。毎年、2月22日のねこの日にはねこ局員が勤務することがあります。

- 営業時間／9:00～17:00
- 定休日／土日祝日
- 電話番号／0179-22-2363



三戸大神宮

地域で「神明さま」と親しまれ400年の歴史があります。灯籠や拝殿にあしらわれた見とれるほど美しいステンドグラスが見所。猫の姿をした巫女のオリジナルキャラクター「みこにゃん」と「キャサリン」にも会いに行ってみてください。

- 電話番号／0179-22-2501



少し足を伸ばして… たっこまち「田子町」にんにく香る元気な町

その品質の高さから日本一とも言われる田子町のにんにく。時期になるとにんにくの香りにつままれ、地元ならではのグルメイベントを楽しめる町です。



田子町ガーリックセンター

田子町のにんにくをふんだんに使ったグルメやお土産がたくさん。センター内レストランを含め町内3箇所のレストランでは、全てのメニューににんにくを使ったフルコースランチ「田子ガーリックステーキごはん」が楽しめます。

- 営業時間／ギフトショップ9:00～17:00 レストラン 11:00～14:00 (土日祝は15:00まで)
- 定休日／レストラン火曜定休 ほか
- 電話番号／0179-32-3165

天空の宿 ロッジカウベル

バレルサウナやキャンプ、バギーなどの豊富なアウトドアアクティビティも体験可能な、山の上の宿泊施設。雲が広がって海のように見える現象「雲海」が見渡せたらラッキー!

- ※冬季休業あり(12月1日～4月下旬)
- 電話番号／0179-32-2462



ガーリックセンターHP▶

ロッジカウベルHP▶